佐倉市環境保全型農業を進める会設置規程（案）

（目的）

第１条　佐倉市環境保全型農業を進める会（以下、「本会」という。）は、佐倉市オーガニックビレッジ宣言（以下、「宣言」という。）及び佐倉市有機農業実施計画（以下、「実施計画」という。）の趣旨に賛同し、有機農業の推進に関する市の取組に協力する農業者等で組織し、市における環境に配慮した持続可能な農業の推進に資することを目的に、佐倉市オーガニックビレッジ推進部会設置規程第６条に基づき設置する。

（定義）

第２条　この規程において「有機農業」とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできるかぎり低減した農業生産の方法を用いて行われる農業をいう。（有機農業推進法第２条）

（事務局）

第３条　事務局は、佐倉市経済環境部農政課におく。

（会員）

第４条　会員区分は、正会員及び賛助会員とし、申請に係る資格は次の各号のとおりとする。

一　正会員

有機農業に取り組む農業者又はちばエコ認証を取得している農業者で、市内の農地を耕作していること。

二　賛助会員

宣言及び実施計画の趣旨に賛同する個人又は団体であること。

（役員）

第５条　役員として、会長及び副会長を置き、いずれも正会員の中から互選とする。

（入会の申請）

第６条　本会への加入を希望するものは、入会申請書（別記様式第１号）を佐倉市オーガニックビレッジ推進部会（以下、「推進部会」）に提出する。

ただし、正会員としての加入を希望する場合は、営農状況確認書（別記

様式第２号）及び販売状況等確認書（別記様式第３号）を添付すること。

（入会の審査）

第７条　推進部会は、前条の申請を受理した場合において、書類審査を行い、記載された内容が真正なものであるかを確認する。

　また、正会員としての加入を希望する申請を受理した場合においては、併せて現地確認を行うものとする。

（入会の承認）

第８条　推進部会は、前条の規定に基づく確認結果を踏まえて、入会承認通知書（別記様式第４号）又は入会不承認通知書（別記様式第５号）を申請者に交付する。

（会員資格の有効期間）

第９条　会員資格は、前条の通知の日から有効なものとし、期間の定めなく継続する。

（内容の変更）

第１０条　会員は、入会申請書及びその添付書類に記載の内容に変更が生じた場合には、その旨を速やかに推進部会に報告する。

（会員資格の喪失）

第１１条　第９条の規定にかかわらず、次の各号に定める場合、会員資格が喪失する。

一　会員本人から脱会届（別記様式第６号）の提出があった場合

二　その他、推進部会が会員資格を喪失させることが必要と認めた場合

（現地確認）

第１２条　正会員は、その資格を有する間、推進部会が事前通告なく実施する現地確認を受けることについて同意し、その円滑な実施に協力する。

（その他）

第１３条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規程は、令和６年５月２７日から施行する。

別記様式第１号（第６条関係）

佐倉市環境保全型農業を進める会　入会申請書

申請日　　年　　月　　日

佐倉市オーガニックビレッジ推進部会長　様

写真	申請者	氏名（団体名及び代表者名）
		住所
		電話
		携帯電話
		メール

佐倉市環境保全型農業を進める会設置規程第６条の規定に基づき、下記のとおり佐倉市環境保全型農業を進める会への入会を申請します。

記

１．申請する会員区分（希望する方に〇をつけてください）

正会員　　・　　賛助会員

２．添付書類（正会員への申請を希望する場合のみ）

（１）営農状況確認書（別記様式第２号）

（２）販売状況等確認書（別記様式第３号）

※有機JAS認証又はちばエコ認証を取得している場合は、証明できる書類を添付してください。

３．同意事項

☐　佐倉市オーガニックビレッジ宣言及び佐倉市有機農業実施計画の趣旨に賛同します。

☐　佐倉市オーガニックビレッジ推進部会が行う加入審査に関する手続きの円滑な実施に協力します。

☐　申請に当たって推進部会が事前通告なく現地確認を行うことに同意します。

☐　佐倉市環境保全型農業を進める会設置規程に定められた事項を遵守します。

☐　上記の個人情報について、会員間の情報共有を目的として利用することに同意します。

署名欄

別記様式第２号（第６条関係）

営農状況確認書

氏名又は名称 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１　農場管理

（1）ほ場

ほ場名	所在地	面積（a）	作物名	有機的管理の開始時期またはちばエコ認証の取得時期	緩衝帯設置の有無	水管理実施の有無（水稲のみ）	収穫予定時期

※1　ほ場1筆ごとの状態が把握できる地図を添付すること。
※2　同一ほ場であっても、使用資材等の管理が異なるほ場は個別に記載すること。その場合、所在地はすべて同じ記載とすることができる。

（2）使用肥料及び土壌改良資材（使用した場合のみ記載）

資材等の名称		製造者名等	使用目的	使用時期	備考
①堆肥	（堆肥の原材料）				
②肥料					
③土壌改良資材					

（3）使用農薬（使用した場合のみ記載）

農薬名（剤型等、商品名）	製造者名等	使用目的	使用時期	備考

（4）有害動植物の防除（必須）

- ☐ 耕種的防除（適地適作の作物や品種の選定、健全種苗の利用、耕起・中耕、被覆植物の利用等）
- ☐ 物理的防除（種子の比重選、光線の遮断、誘蛾灯・防蛾灯の利用、防虫用ネット・粘着トラップの利用、人力又は機械的な除草等）
- ☐ 生物的防除（拮抗微生物の利用、捕食性及び寄生性天敵の利用等）

（5）使用種苗（必須）

作物名	種・苗の別	入手方法	購入先	種苗の種類	使用農薬名	有機種苗の入手困難な理由	備考

（6）周辺から使用禁止資材が飛来し又は流入しないような措置

①緩衝帯の設置（必須）

具体的な措置内容	近隣ほ場との隔離距離（m）	備考

②水管理（水稲取組ほ場のみ記載）

具体的な措置内容	備考

③機械・器具（使用した場合のみ記載）

機械・器具名	有機専用 慣行併用	個人使用 共同使用	保管場所	洗浄方法	備考

（7）組換えDNA技術の利用（必須）

□　組換えDNA技術を利用しない。

（8）放射線照射（必須）

□　放射線照射を行わない。

２　環境保全型農業直接支払交付金について

□　取り組む意向あり　　□　取り組む意向なし

（別添）

ほ場地図

氏　名：

ほ場の規模やそれぞれの位置、近隣の土地の使用状況などに加えて、隣接地からの汚染の危険性の有無が確認できるように記載してください。

作成時のポイント：

①方角を入れ、ほ場番号を明確にする。

②ほ場の大きさ、畦畔・道路の幅、水田の場合は取水・排水口を書く。

③隣接地との距離、隣接地の内容を書く（慣行か有機か等）。

別記様式第３号（第６条関係）

販売状況等確認書

氏名又は名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．販売先情報

品目	年間生産量	販売先	日時等	備考

２．その他

（１）学校給食への納品希望　□希望する　□希望しない

（２）会員への情報共有　　□同意する　□同意しない

別記様式第４号（第８条関係）

入会承認通知書

年　　月　　日

住所（所在地）
申請者
氏名（団体名および代表者名）　　様

佐倉市オーガニックビレッジ推進部会
部会長

年　　月　　日付けで申請のあった佐倉市環境保全型農業を進める会への入会について、下記のとおり承認することを決定したので通知します。

記

氏名又は名称	
住所	
会員区分	
条件	

別記様式第５号（第８条関係）

入会不承認通知書

年　　月　　日

住所（所在地）
申請者
氏名（団体名および代表者名）　　様

佐倉市オーガニックビレッジ推進部会
部会長

年　　月　　日付けで申請のあった佐倉市環境保全型農業を進める会への入会について、下記のとおり承認しないことを決定したので通知します。

記

会　員　区　分	
不承認の理由	

別記様式第６号（第１１条関係）

脱会届

年　　月　　日

佐倉市オーガニックビレッジ推進部会長　様

氏名（団体名及び代表者名）

届出者

住所

佐倉市環境保全型農業を進める会設置規程第１１条の規定に基づき、脱会届を提出します。